

コース名	利益を生み出す会計情報活用法(虎ノ門) —明日から実践する管理会計—			
研修のねらい	<p>中小企業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、企業が生き残り成長発展していくためには、自社の経営状態を正確に把握し、全社的に経営課題に取り組み、利益を生み出すことが重要です。</p> <p>この研修では、管理会計によって経営課題を可視化し、自社の現状を客観的に把握することの大切さや、会計情報の経営への活用について様々な視点をわかりやすく解説します。特に、現状の収益構造からどのようにして利益を生み出すのか演習を交えて実践的に学びます。また、利益・資金計画を実現するための進捗管理の重要性や取り組みのポイントを学びます。</p>			
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・会計情報を経営に活かす利点について具体的な事例を交えながら学びます。 ・会計情報の自社における具体的な活用方法を検討、実践できます。 ・収益性の改善手法についてモデル教材を使った演習で理解を深めます。 <p>◆関連コースのご案内 No.28「業務に活かす 財務分析実践講座」2018年7月3日(火)～5日(木)〈3日間〉 No.30「目標を実現する 利益・資金計画の考え方と進め方」2018年10月24日(水)～25日(木)、11月20日(火)～21日(水)〈全4日間〉</p>			
注意事項	・演習では使用しませんが、「自社の直近3期分の決算書」を持参すると受講の参考になります。			
研修期間	2018年8月28日(火)			
受講対象者	経営者・経営幹部	定員	35名	受講料 16,000円

月日	時間	科目	内容	講師
8月28日(火)	9時20分～9時30分	オリエンテーション		担当職員
	9時30分～11時00分	管理会計の基礎的知識	<p>「儲けとお金」の関係について理解し、決算書の見方のポイントを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計情報を活かす効果・必要性 ・会計情報を有効活用した企業事例 ・「利益とキャッシュ(資金)」の違いについて ・モデル決算書を使った決算書の見方 ・貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書とは 	駒井 伸俊 株式会社イーバリュー ジャパン 代表取締役
	11時00分～13時00分	会計情報の実践的活用(演習)	<p>管理単位別会計の必要性・取り組み方について、具体的な事例を通じて学びます。さらに収益性を改善する方法について習得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理単位別(部門別、商品別、地域別、取引先別)会計の必要性と効果及び取り組み事例 ・モデル決算書を用いた損益分岐点の考え方(演習) ・収益性の改善方法(売上高の拡大・利益率の改善・固定費の圧縮) ・損益分岐点のシミュレーション 	
	13時00分～15時00分		<p>利益・資金計画の必要性や計画的な進捗管理により好業績に変化した事例を用いて、計画の実現性を高めるための管理のポイントを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益計画と資金計画の必要性と効果 ・利益・資金を生み出す方法 ・利益計画と資金計画の作成方法 ・計画実現のポイント 	
	15時00分～16時30分	利益・資金計画の必要性と計画実現に向けて		
16時30分～16時40分	修了証書の授与		当校職員	

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
駒井 伸俊 (こまい のぶとし) 株式会社イーバ リュージャパン 代表取締役	<p>大学在学中に学習塾を設立。卒業後、安田信託銀行(株)等を経て、コンサルタントとして独立し、2001年に(株)イーバリュージャパン設立、同代表取締役就任。駒井伸俊税理士事務所所長。起業・経営革新支援、経営・営業戦略立案、事業計画策定、資金調達支援、リーダー養成、ロジカルシンキング等の分野で活躍中。税理士、中小企業診断士、ITコーディネータ。</p>

30年度コース別受講申込書

FAX 042-590-2685

★この申込書は当校で受領後、受講者情報右欄の受付状況を記載して、折り返しFAXします。必ずご確認ください。

中小企業大学校 東京校長 あて

年 月 日

フリガナ			代表者役職		
会社名			代表者氏名		
所在地	〒 都 道 府 県				
TEL			FAX		
主要取扱品目			資本金	万円	従業員数 人
業種 <small>該当区分に○印をつけてください</small>	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 ()	業種分類 <small>製造業の方は該当区分に○印をつけてください</small>	9.食品 10.飲料 11.繊維 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業		
研修を知ったきっかけ	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌・テレビ・ラジオ 9.県市等の機関紙 10.展示会等 11.その他()			メールマガジンの送信可否	可 ・ 不可
				人材育成計画作成への関心	ある ・ ない
連絡担当者	フリガナ		部署		
	氏名		役職	担当者 E-mail	

コースNo.	No. 29	コース名	利益を生み出す会計情報活用法(虎ノ門)
--------	---------------	------	----------------------------

受講者情報①	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況①	受講できます 「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。		
	氏名				男		役職					
	受講者 E-mail				該区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補					
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日		退寮日							
入寮する	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日	~	研修終了日	研修終了日の翌日	キャンセル待ち 番です キャンセルが発生次第、ご連絡します。					

受講者情報②	フリガナ		年齢		性別		部署		受付状況①	受講できます 「受講決定通知兼振込依頼書」を開講の約1ヶ月前に事務連絡担当者様へ発送します。		
	氏名				男		役職					
	受講者 E-mail				該区分に○印をつけてください		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補					
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要する項目に○印をつけてください。											
	入寮の有無	→	入寮日		退寮日							
入寮する	入寮する場合	研修開始日の前日	研修開始日	~	研修終了日	研修終了日の翌日	キャンセル待ち 番です キャンセルが発生次第、ご連絡します。					

- 1) 入寮希望の有無・入寮日は、受講者本人に確認をお願いします。なお、入寮時の部屋割りご希望に添えない場合があります。
- 2) より多くの方が受講できるように、原則として1コースあたり1社2名様までのお申し込みといたします(一部コースを除く)。2名様をこえる場合はキャンセル待ちとなります。ご理解くださいますようお願い申し上げます。
- 3) 「経営後継者研修」「経営管理者研修」の申込書は、別様式です。専用パンフレットをご請求ください。

個人情報保護について	個人情報保護法に定義される個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用します。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものとします。
------------	---

大学校使用欄
